

屋久島の 魅力に迫る！

番外編



—『ヤクスギランド』②—

案内板には“80分・150分コースは登山道です。整備と体力にご注意ください。”と書かれていました。「いざ突入！」と意気込んで吊り橋を渡り、清流の音や岩場の眺めに気分上々！

そんな気分もつかの間、飛び込んできた光景は、本格的な登山道でした。お散歩ハイキングコースではありません。せっかく来たのだから、もっと楽しみたいなどの思い、森の奥へと険しい山道を



頑張って進みました。ふとひと息ついた時、そこは別世界でした。森の静けさ、滴り落ちる雨のしずく、凜とした空気の中に鳥の鳴き声、時々通り抜ける風にゆれる木々の音、森を走るような霧の流れは、まさに大自然の中にたたずんでいる体感をしました。しばし自然に身をゆだねていると、この場所では自分が、あまりに無力で小さく思え、森に、山に、受け入れられているような神秘



蛇紋杉



母子杉



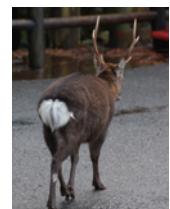
仏陀杉

的な気持ちになりました。森の奥ゆえ人影もなく、静寂な屋久島の森を味わうことが出来ました。途中では「仏陀杉」「蛇紋杉」「天柱杉」「母子杉」「ひげの長老」などの巨木たちも出迎えてくれました。

日暮れの時刻がせまり、残りの行程が読めず、焦りと不安の中を進み、やっと出口の看板が飛び込んできた時、「遭難しなくて良かった」とほっと胸をなでおろしたのでした。2時間半のコースを4時間もかかりましたが、屋久島のありのままの自然を感じ、ここでしか味わえない森の体験が出来た喜びは、素晴らしい思い出になりました。また初登山（トレッキング）も、いま振り返ればとても楽しかったので、次回は1日コースの「縄文杉」に挑戦してみようと思っています。



駐車場で帰り支度中、偶然にも一頭のヤクシカがトコトコと現れました。角がりっぱな雄ジカは、入口の係員さんにエサをねだっているようなそぶりでした。お互い恐れる様子もなく、係員さんも見て見ぬふりで、しばらくするとヤクシカは静かに森へ戻っていました。ヤクシカは、おしりとしっぽの白がとてもかわいらしく、目がくりくりしていたのがとても印象的でした。



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

総務 杉浦 久枝